

シリーズ『みんなの力で命と暮らしを守る
～防災計画が目指すもの』



知っておきたい！
防災・減災の基礎知識④

今回は、本市の防災・減災や被害想定のお考え方や本市が定めている水害時の避難基準に関して説明しましたが、今回は国が洪水時に発表する防災用語がわかりやすく改善されましたので、その主なものについて説明します。
《問合せ》防災安全課防災係

水位情報・洪水予報で用いる用語

現 行	改 善
1 危険水位	はん濫危険水位 〔洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の恐れがある水位〕
2 特別警戒水位	避難判断水位 〔市長の避難勧告等の発令判断の目安、住民の避難判断の参考となる水位〕
3 警戒水位	はん濫注意水位 〔市長の避難準備情報等の発令判断の目安、消防団(水防団)の出動の目安となる水位〕
4 指定水位(通報水位)	水防団待機水位 〔消防団(水防団)が出動のために待機する水位〕
5 (川)洪水情報	川はん濫発生情報、川はん濫危険情報 〔はん濫危険水位に到達した時やはん濫が発生したときに発表する〕

報の受け手の混乱を招かない
住民や報道機関、市等の情

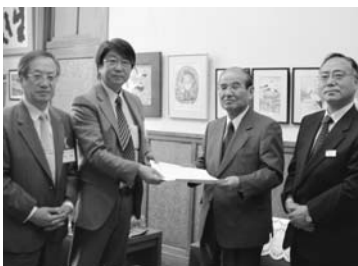
水位・発表情報の改善

ように、従前、用いていた警戒水位等の各種の水位をはん濫の危険度にあわせて再調整しました。また、危険度のレベルを明確にするとともに、

水位に基づいて発表する防災情報と住民の避難行動等の関連を明確にするため、河川に関する発表情報を次表のとおり統一することにしました。

その他の用語

現 行	改 善	現 行	改 善
1 破堤	堤防の決壊	10 川の右岸・左岸	例：川の側 (具体的地区名等を用いる)
2 欠壊	一部流出(崩壊)		
3 越水・溢水	水があふれる	11 堤内地・堤内	堤防の居住側、堤防より居住地側
4 冠水	浸水	12 堤外地・堤外	堤防の川側、堤防より川側
5 出水	増水	13 洪水敷	河川敷
6 洗掘	深掘れ	14 直轄区間	国管理区間
7 樋門	水門	15 指定区間	県管理区間
8 排水機場	排水ポンプ場	16 法・法面	堤防斜面
9 堤防天端	堤防上端、上面	17 内水	内水(河川に排水できずにはん濫した水)



協定書を交わす市長と辻社長(右から2人目)

災害発生時の救援活動を円滑にするため、3月30日、豊岡市と株式会社トヨタとの間で災害協定を締結しました。今回は5件目となります。本協定書には、災害時、市の要請に応じて、同社から避難者に対する食品や生活必需品などの物資の供給を受けることが明記されています。締結式では、同社の辻勝蔵社長が「災害時には豊岡市の倉庫となるよう力強く応援したいです」と決意を語ると、中貝市長は「地元の企業と協定を交わすことができ、災害時にはとても心強い存在となりました」と答えていました。

株式会社トヨタと
災害協定を締結

環境あれこれ ④

ごみを減量させるには
一人ひとりの行動が大切です



環境に関する問題について、市の取組みなどをシリーズでお知らせします。 《問合せ》生活環境課生活環境係

前号で、ごみ減量の目標を平成12年度と比べ10年間で20%（8,500トン）減らす目標をお知らせしましたが、今号では、減量策として、市の取組みをお知らせします。

市では、家庭から出るごみを減らすため、市民を対象に生ごみ処理機の購入や、団体が行う古紙やアルミ缶などの資源ごみの集団回収に補助を行っています。

また、区に対しては、ごみを衛生的に排出してもらうため、ごみステーションの整備や、資源ごみを保管するための倉庫などを整備する補助制度を設けて支援しています。

燃えるごみの品質

家庭等から排出されるごみ質を確認するため、年4回、季節ごとに組成分析を行って、年間の平均値を求めています。18年度の測定結果をみると、

その割合の高いものから、紙・

布類が43%、2番目には、台所ごみ類が34%、3番目には、ビニール、ゴム、合成樹脂、皮革類が15%、竹、木、その他が8%を占めています。

また、体積1立方メートル当たりの重量は153.5キロで、可燃分は54%、水分が41%を占め、残り5%が灰分となっています。

上手にごみを減らす

家庭で燃やすごみを減らすには、まず、ごみの発生を抑制することです。購入した物を無駄なく使い切る工夫も必要です。

例えば、台所で大根やニンジンの葉、その他野菜の茎などを捨てずに調理することや、冷蔵庫の中身をチェックして、メニューを工夫したり、料理を作るときに、1人分の分量を考えて作り過ぎないように

することで、ごみを減らすこともできます。

また、時には、買わない工夫も必要です。無駄なものは、買わないようにしたり、詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を選んで買う工夫も必要です。

資源ごみの集団回収を

積極的に実施して減量を

集団回収を実施した団体は、平成17年度は、延べ612団体あり、その取組みで約4,000トンのリサイクルが行われました。平成13年度と比べると、実施が149団体増加、それに併せて、1,321トンのリサイクル量が増加しています。その取組みに対しての補助金額は、17年度で、290万円となり、平均すると、1団体当たり約37,400円となります。この補助金は、団体の活動費やコミュニケーションの維持経費として活用されています。

さまざまな方法で取組みが行われていますが、ごみ減量は、一人ひとりの小さな取組みが大きな成果をもたらすことから、今まで以上の行動とご協力をお願いします。

交通安全かわら版

ハンドルキーパー運動を
ご存じですか？



ハンドルキーパー運動とは？
自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

この運動は、オランダで8割の国民が意味を理解している「ボブ運動」を参考に行っています。オランダでは、仲間同士や飲食店が「今日のボブは誰？」と呼びかけ、グループ内で飲酒をしない人を決めておき、飲食店もこれに協力する取組みを実施しています。

ドライバーの皆さんは、飲酒運転を追究するために、ハンドルキーパー運動に積極的に参加協力をお願いします。

【酒類を提供するお店の方へ】
お客さんが、車で来店されたかどうか確認ください。

その時に、どなたが車を運転されるのか確認ください。車を運転される方には、アルコール類を提供しないでください。

車を運転される方には、目印となるものをお渡しするか、目印となるものを席に置いてください。
お客さんが、運転代行等を依頼して帰られるときは、その確認ができるまで車のキーをお預かりください。

春の全国交通安全運動の実施

テーマ「子どもと高齢者の交通事故防止」
運動期間 5月11日（金）20日（日）
運動重点
飲酒運転の根絶

自動車の安全利用の推進
後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
歩行中の安全行動の徹底

《問合せ》防災安全課 消防安全係